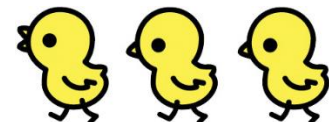


子育てサロン

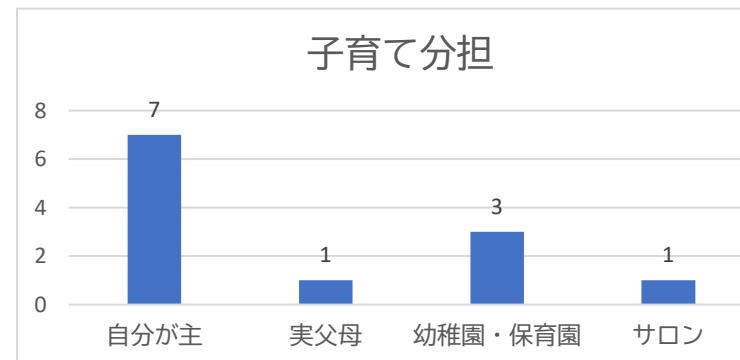
9月12日（火曜日）、長門市地域福祉センター2階多目的研修室にて、4年ぶりに地域の子育て中のママの交流会を開催しました。

本の読み聞かせ、音楽に合わせてリズム体操、お魚釣りなどをして、親子で楽しい時間を過ごすことができました。

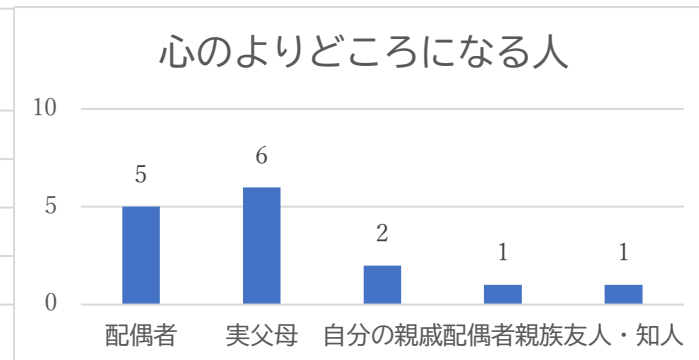


【参加者アンケート】

1. 子育ての役割分担（複数回答）

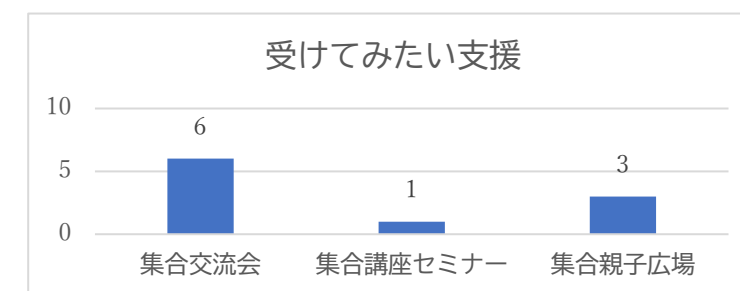


2. 心のよりどころになってくれる人（複数回答）



子育て役割ではママが主となり配偶者や父母などが役割分担している。配偶者や父母などが心のよりどころになって子育て出来ている。

3. これから受けてみたい支援（複数回答）



4. 子育ての悩みや不安

- ・躾がわからない
- ・健康や発達について
- ・子供との接し方
- ・忙しい時子供の面倒を見てくれる人

オンライン交流でなく集合研修を希望されている。

悩みや不安では、躾、健康や発達、接し方、いざという時の面倒を見てくれる人などについて考えている。



深川地区社協だより 4P



2023/09/12

ふかわ地区社協

編集・発行元 長門市地域福祉センター内 深川地区社会福祉協議会
長門市東深川 1321-1 電話 090-3246-5635

だより R5. 11.

第5回「ながとSDGs」マルシェ

R5.11.26. (日) 9:30～11:30

場所：JA 山口県長門統轄長門地方卸市場（長門高校前）

テーマ：物を大切に、資源に変えて豊かなまちに

旬野菜市
50～100円

農家のわけあり野菜直送
地元で採れたて野菜をご自宅で美味しく味わってください。
レシピをお渡します！！
売り上げは赤い羽根募金へ

カフェレスト テイクアウト

長門市内お店を味わう
お弁当・パン・たい焼き・焼き鳥

譲り合い
50～500円

ベビーカー、チャイルドシート、子供服、絵本、未使用タオル、皿など
【当日お持ちください】必要でなくなった品物の提供をお願いします。

SDGs

【資源有効利用】
身近にできるゴミを減らす取り組み
市役所 市社協

【お願い】駐車場が少なくご迷惑をおかけします。近くの公共駐車場の使用をお願いします
主催：未来デザインプロジェクト 会長 橋本憲治 【お問い合わせ】090-3246-5635（深川地区社協）

深川地区社会福祉協議会は「地域と共に」

みなさんが暮らしている深川地域がもっともっと住みよくなるための「福祉のまちづくり」を、地区社協は取り組んでいます。

【地区社協の目的】地域のコミュニティが弱まり、人と人とのつながりが希薄になっています。現代社会において、高齢者、子どもや社会的に弱い立場にある人たちを地域で支えていく必要があります。そのためには、地域において生活上の課題を発見し、解決の手助けをする活動を継続的に展開する組織として地区社協は期待されています。

深川地区社協だより 1P

令和 5 年度深川地区3団体(自治会連合会・民生委員児童委員協議会・地区社協)交流開催

令和5年8月22日、長門市市役所研修室にて、深川地区3団体自治会連合会・民生委員児童委員協議会・地区社協30名が集まり交流会を開催しました。

今年のテーマは「暮らしの中のごみの課題」について、長門市環境衛生課、長門市社協の取り組みについてお話を聞き、その後グループワークを行い、意見交換しました。



1. ごみの分別の課題

問 題	自分たちでできること	行政
・燃えないものが燃えるゴミに入る ・包装が多い ・ビン・缶の分別ができない ・夜間に出す ・分別方法が細分化され徹底が困難 ・プラをどの位きれいにすれば良いか ・生ごみの水分で重くなる ・プラを洗って乾かす作業大変 ・ごみを減らすサイクルが見えない ・高齢者は分別がむづかしい ・分別の理解ができてない ・行政が進める仕分けができていない ・高齢者に不徹底 曜日・祝日・分別 ・プラゴミで無色透明袋を使用しない ・ポイ捨て ・小型家電が無造作に出されている ・透明か否か高齢者には不明	・子供とごみ出し小さい時から意識 ・ごみを少なくする心がけ ・買い物を必要な量だけにする ・明るくなってから出す ・分別方法・日時の再度確認 ・草は乾かし、木々は小さく切る ・水をしっかり切る ・生ごみの量を減らす分別に努める ・高齢者のごみ出し手伝い ・ゴミをごみ処理機器でリサイクル ・なるべく量を減らす ・個人が可能な限り研修などに参加 ・市のマニュアルに沿って出す ・区の回覧で周知 ・声掛けする ・リサイクル意識を持つ ・ごみを少なくする心がけ	・分別方法・日時・マナーの広報 ・出前講座を自治会などで実施 ・ごみ袋の値段をあげる ・常時指導説明を行う ・半透明で出した後始末 ・このような会を開催情報交換 ・正しいゴミ出しについて広報 ・補助金制度の利用 ・ごみ処理機などを購入 ・袋半透明が区別しにくい ・必要な時は立ち合い ・わかりやすい方法で広報 ・道路わきのゴミの回収 ・行政が適宜点検 ・リサイクル



2. 日常のごみの課題

問題	自分たちでできること	行政
・ごみ袋を使用していない ・カラスやトンビによる被害 ・つい燃えるゴミに全部入れる ・枝が袋から出て傷つける ・ごみ箱の網が破れた時の対応 ・企業の過剰包装 ・生ごみ対策 ・ごみステーションの充実 ・通りすがりのごみ捨て ・減量化への意識が薄い ・ごみステーションの設置場所 ・食品ロスが多い	・網を個人的に手直ししている ・使い捨てをやめる ・いらなくなったものを人に譲る ・マイバック・ボトル・はし ・過剰包装のものを買わない ・食品ロスをなくす ・地域でものを言える関係づくり ・まず、個人が気を付ける ・ごみ減量化の目的・効果の認識 ・必要なものを買う ・ごみステーション周辺の掃除 ・自治会で巡回 ・残されてないか確認 ・食べられる量を買う ・生ごみを資源として使う	・9時30分ごろまでに回収 ・ごみステーションの状況確認 ・充実したアプリ、充実したパンフレット ・ポイ捨て問題 自治会以外のごみ捨て ・自治会未加入への対応 ・業者へ過剰包装しない取り組みのお願い ・区費の問題 ・ごみの管理や困りごとを巡回して聞く ・その地域の状況を把握し個別的な対応 ・何かあればすぐに対応 ・ごみ問題を地域内問題とせず、行政と検討 ・法律が変わったことを知らせてほしい ・さまざまなサービスの情報提供 ・ごみ袋の検討 ・生ごみの肥料化



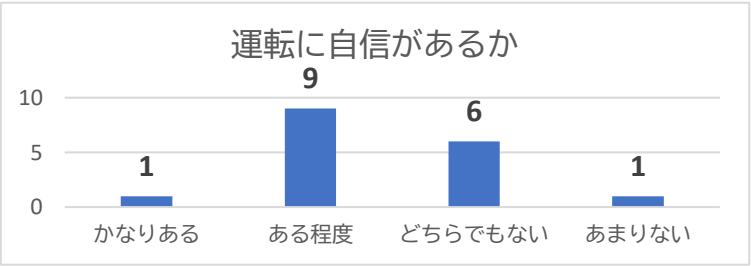
高齢者安全運転講座

9月15日（金曜日）長門市市民活動センターにて高齢者安全運転講座を、安全・安心に運転していたきたいと60歳以上の方を対象に講座を開催しました。

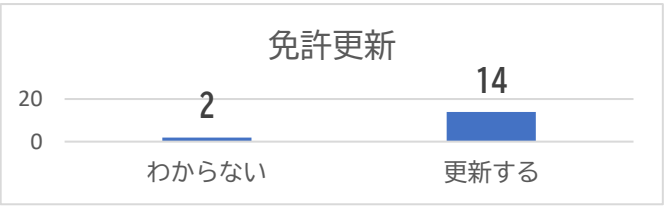
長門市警察署から高齢者が関わる自動車事故、日産プリンスから自分でできる車点検、運転する責任などについて講演いただきました。

【参加者アンケート】

1. 運転に自信があるか



2. 免許更新をしますか



3. 今後、このような研修会が必要ですか



これからも、安全に運転できる充実した講習会を行っていきます。